

# 平成19(2007)年 仏説観無量寿経 王舎城物語

平成18年12月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1 10・11 友引	2 10・12 先負 御正忌報恩講
3 10・13 仏滅 御正忌報恩講	4 10・14 大安	5 10・15 赤口	6 10・16 先勝	7 10・17 友引 大雪	8 10・18 先負 成道会	9 10・19 仏滅 漱石忌
10 10・20 大安	11 10・21 赤口	12 10・22 先勝	13 10・23 友引	14 10・24 先負	15 10・25 仏滅 年賀郵便受付開始	16 10・26 大安
17 10・27 赤口	18 10・28 先勝	19 10・29 友引	20 11・1 大安 仏教講座	21 11・2 赤口	22 11・3 先勝 冬至	23 11・4 友引 天皇誕生日
24 11・5 先負	25 11・6 仏滅	26 11・7 大安	27 11・8 赤口	28 11・9 先勝 御用納め	29 11・10 友引	30 11・11 先負
31 11・12 仏滅 大晦日 除夜会	1	2	3	4	5	6

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**

Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
 醍醐山厭傾院 **徳勝寺**

Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館  
**だいが** (醍醐)

Tel & Fax 0879(43)5772

平成 18 年 12 月

# 平成 19 (2007) 年

2 月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

# 1 月

睦月 January

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	1	2	3

日	月	火	水	木	金	土
31 除夜会	1 11・13 大安 元日 修正会	2 11・14 赤口	3 11・15 先勝	4 11・16 友引	5 11・17 先負	6 11・18 仏滅 小寒
7 11・19 大安 七草	8 11・20 赤口 成人の日・大御身	9 11・21 先勝 本山報恩講 仏教婦人会	10 11・22 友引	11 11・23 先負 鏡開き	12 11・24 仏滅	13 11・25 大安 仏教壮年会
14 11・26 赤口 ふるさと探訪	15 11・27 先勝 小正月	16 11・28 友引 親鸞聖人忌	17 11・29 先負 土用	18 11・30 仏滅	19 12・1 赤口	20 12・2 先勝 大寒
21 12・3 友引	22 12・4 先負 黙阿弥忌	23 12・5 仏滅	24 12・6 大安	25 12・7 赤口	26 12・8 先勝	27 12・9 友引
28 12・10 先負	29 12・11 仏滅	30 12・12 大安	31 12・13 赤口 仏教講座	1	2	3

さくと踏む玉砂利の音初詣  
阿部治

アジャセ王子の誕生  
観無量寿経は、実際にあったと言われるインドの王家の物語で始まっています。そこで、この物語を最初にお話しておきます。

耆闍崛山の麓にある王舎城に、ビンビサーラ王という王様と、そのお妃のイダイケという仲の良いご夫婦がおられました。ところが、このお二人にはお子様がおられません。そこで占い師に見てもらったところ、はるか遠い山中で修行をしている仙人が、いのちを終わったら、王子として産まれてくる、と言われたのです。お二人は大変喜んで、その時を待っていたのですが、しだいに待ちきれなくて、ついに軍隊を派遣して殺してしまいました。仙人は、恨みの思いをもつて死んでいったといひます。

すると、占いどおりイダイケ夫人はご懐妊され、お二人は大変に喜んでおられました。

ところが、占い師がやって来て、この王子は大きくなると、前世の恨みによって、必ず父親のビンビサーラ王を殺すに違いない、と不吉な占いを遺していきました。

そこで、王子を生まねがらに殺してしまおうとして、高い楼閣を建て、その下には剣の先を上に向けて、そこを産屋にしました。月が満ちてイダイケ夫人は、その産屋に入ってアジャセ王子を出産しましたが、そのまま産屋から下に落ちて、王子も殺そうとしたのです。ところが、幸いにも王子は右の小指を痛めただけで助かりました。

さすがに二人とも可愛い王子が助かったのを見て、大切に育てられました。ことにビンビサーラ王は、王子の傷が膿んだのを見て、自分の口でウミを吸いとってまで、大事に育てられたのです。そのお陰でアジャセ太子はすくすくと育ち立派な若者となり、諸国随一の王子となったのでした。

1月

# 平成19(2007)年

3月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

## 2月

如月 February

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 <small>12・14 先勝 良忍忌</small>	2 <small>12・15 友引</small>	3 <small>12・16 先負 節分</small>
4 <small>12・17 仏滅 立春</small>	5 <small>12・18 大安</small>	6 <small>12・19 赤口 仏教婦人会</small>	7 <small>12・20 先勝 如月忌</small>	8 <small>12・21 友引 こと始め</small>	9 <small>12・22 先負</small>	10 <small>12・23 仏滅 仏教壮年会</small>
11 <small>12・24 大安 建国記念の日 ふるさと探訪</small>	12 <small>12・25 赤口 振替休日</small>	13 <small>12・26 先勝</small>	14 <small>12・27 友引</small>	15 <small>12・28 先負 涅槃会</small>	16 <small>12・29 仏滅</small>	17 <small>12・30 大安</small>
18 <small>1・1 先勝 旧正月</small>	19 <small>1・2 友引 雨水</small>	20 <small>1・3 先負</small>	21 <small>1・4 仏滅</small>	22 <small>1・5 大安</small>	23 <small>1・6 赤口 皇太子誕生日</small>	24 <small>1・7 先勝 旧七草</small>
25 <small>1・8 友引</small>	26 <small>1・9 先負</small>	27 <small>1・10 仏滅</small>	28 <small>1・11 大安 仏教講座</small>	1	2	3

古備前のいびつの花器に梅一枝  
 広瀬延枝

イダイケ夫人の幽閉

アジャセ王子の友人に、お釈迦さまの従兄弟で、その頃はお弟子になっていたダイバダッタという者がいました。

ダイバダッタは、アジャセ王子の生まれの秘密を漏れ聞いており、その小指の傷の話を、アジャセ王子に漏らしたのです。それを聞いたアジャセ王子は怒って、ビンビサーラ王を地下牢に食事も与えずに幽閉して、餓死させようとなりました。

毎日、アジャセ王子は牢番にビンビサーラ王が生きているか確かめます。しかし、食事も与えていないのに、いつまで経ってもビンビサーラ王の体力はおちないのです。それどころか、以前からおシャカさまの教えを聞いていた王は、精神的にも落ち着いていたのです。

牢番を詰問すると、母親のイダイケ夫人が、胸飾りに麦を焦がしたものを入れ、髪飾りにぶどう酒を隠して、毎日ビンビサーラ王に運んでいると答えたので、アジャセ王子は、怒り狂って母親を切り殺そうとしました。

それを見た大臣の月光と医者達のジーバは、「今までも、王位を狙って父王を殺して王となったものはたくさんいますが、母親を殺すなどという非道なことをした者はいまだかつて聞いたことがありません。それは王族の家柄を汚す行為です」

と言って、剣に手をかけアジャセ王子に向かおうとしました。その剣幕に押され、ついにアジャセ王子は、みずからの行いを悔いて、ふたりの大臣に許しを求め、剣を捨てて母親殺害は思いとどまりました。

しかし、怒りはおさまらず、母親を王宮の奥深くに閉じ込めて、一歩も外に出られないようにしてしまいました。

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**  
 Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
 醍醐山厭傾院 **徳勝寺**  
 Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館  
**だいご** (醍醐)  
 Tel & Fax 0879(43)5772

2月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	1	2	3

# 平成19(2007)年

## 3月

弥生 March

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	1 1・12 赤口 全国緑化運動	2 1・13 先勝	3 1・14 友引 ひな祭り
4 1・15 先負	5 1・16 仏滅	6 1・17 大安 啓蟄 仏教婦人会	7 1・18 赤口 法然忌・消防記念日	8 1・19 先勝 国際婦人デー	9 1・20 友引	10 1・21 先負 仏教壮年会
11 1・22 仏滅 ふるさと探訪	12 1・23 大安 お水取り	13 1・24 赤口	14 1・25 先勝	15 1・26 友引	16 1・27 先負	17 1・28 仏滅
18 1・29 大安 彼岸入り	19 2・1 友引	20 2・2 先負 春季永代経	21 2・3 仏滅 春分の日 春季永代経	22 2・4 大安	23 2・5 赤口	24 2・6 先勝 彼岸明け
25 2・7 友引	26 2・8 先負	27 2・9 仏滅 利休忌	28 2・10 大安 仏教講座	29 2・11 赤口	30 2・12 先勝 薬師寺花会式	31 2・13 友引

腕ひろげ女雛を庇う男雛かな  
かば  
松原忍

イダイケ夫人の嘆き  
 宮殿の奥に閉じ込められたイダイケ夫人は、はるか彼方の者聞岬山で教えを説いておられるおシャカさまに手を合わせて、目連尊者とアーナンダ尊者をそばに遣わして、自分を導いて欲しいと念じたのでした。  
 そのイダイケ夫人の置かれている状況がいかに大変であるかを、おシャカさまは察知されて、みずから王宮におもむこうとされて、忽然と王宮の奥深くのイダイケ夫人の眼前に出現されました。  
 イダイケ夫人が、ふと顔をあげると、おシャカさまのお顔が輝いておられました。そのお姿を見たイダイケ夫人は、号泣しながらひれ伏して  
 「世尊よ。わたしはどんな悪いことをしたのでしょうか。なぜ、あんなに悪い子どもを生んだのでしょうか。  
 アジャセ王子をたぶらかして、こんな恐ろしい罪を犯すようになったのは、ダイバダッタです。どんな因縁があってダイバダッタは世尊の従兄弟なのでしょう」  
 と訴えたのでした。それははてしもない縁言であり、おシャカさまに対する怨み言でさえありました。  
 こんなに大変なことでもなくとも、私たちはしばしばこのように思うことがないでしょうか。自分がしたことはすべて忘れて、悪いのは他の人であると思っはいいないでしょうか。この物語は、けっして大昔のインドのお話なのではなく、今生きている私たちの姿を、このような物語として私たちに見せてくれているのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**  
 Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
 醍醐山厭傾院 **徳勝寺**  
 Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館  
**だいご** (醍醐)  
 Tel & Fax 0879(43)5772

# 平成19(2007)年

## 4月

卯月 April

3月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

5月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
2・14 先負	2・15 仏滅	2・16 大安 仏教婦人会	2・17 赤口	2・18 先勝 清明	2・19 友引 交通安全運動(~15日)	2・20 先負
8	9	10	11	12	13	14
2・21 仏滅 花祭り・灌仏会 ふるさと探訪	2・22 大安	2・23 赤口 女性の日	2・24 先勝 聖徳太子会	2・25 友引	2・26 先負 本山 春の法要(~15日)	2・27 仏滅 仏教壮年会
15	16	17	18	19	20	21
2・28 大安	2・29 赤口	3・1 先負 大谷本廟永代総追悼法要	3・2 仏滅	3・3 大安	3・4 赤口 穀雨・郵政記念日	3・5 先勝
22	23	24	25	26	27	28
3・6 友引 総代会(予定)	3・7 先負 みどりの週間	3・8 仏滅	3・9 大安 興福寺文殊会 仏教講座	3・10 赤口	3・11 先勝	3・12 友引
29	30	1	2	3	4	5
3・13 先負 昭和の日	3・14 仏滅 振替休日					

花陰に湖畔を描くベレー帽  
松下房子

浄土を欣ぶ

「お釈迦さま、私はもうこれ以上、辛い苦しい目にあいたくはございません。どうか私に苦しみのない清らかな国をお見せください。」  
お釈迦さまが静かに眼を閉じると、眉間の白毫からこの世のものとは思えない光があらわれ、たちまち全世界を照らし出しました。同時に、お釈迦さまの頭上から輝く光の台となりました。そこに数知れない様々の美しい国が映し出されました。

ある国は七つの宝でできており、またある国は清い蓮の花ばかりでできていました。十方の無数の諸仏、各々に一つずつの仏国土がありました。

「お釈迦さま、どのみ仏の国もそれぞれに皆美しいのですが、中でも阿弥陀さまのお国に生まれたいと存じます。どうかその道をお示してください。」

イダイケ夫人の言葉を聞いてお釈迦さまは喜びになって、かすかに笑みを洩らしました。すると、その口もとから五色の光が出て、牢獄の中のビンビサーラ王のもとに届きました。王は、その光のお陰で心の眼でお釈迦さまを見ることができ、深い喜びをもって礼拝しました。その瞬間、王はこの欲の世界を超えることができ、ビンビサーラ王がまず救われました。

お釈迦さまはおもむろに口を開きました。「イダイケよ、あなたは知っているだろうか。阿弥陀さまのお国はここからそう遠くないことを。」

イダイケ夫人は思わず身をのり出して、お釈迦さまのお話に聞き入りました。

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**

Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
醍醐山願院 **徳勝寺**

Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館  
**だいご** (醍醐)

Tel & Fax 0879(43)5772

# 平成19(2007)年

## 5月

皐月 May

4月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5

6月						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1 3・15 大安 メーデー 仏教婦人会	2 3・16 赤口 八十八夜	3 3・17 先勝 憲法記念日	4 3・18 友引 みどりの日	5 3・19 先負 こどもの日・端午
6 3・20 仏滅 立華	7 3・21 大安	8 3・22 赤口 世界赤十字デー	9 3・23 先勝	10 3・24 友引 愛鳥週間	11 3・25 先負	12 3・26 仏滅 覚信忌 仏教壮年会
13 3・27 大安 母の日 ふるさと探訪	14 3・28 赤口 運如忌	15 3・29 先勝 京都葵祭	16 3・30 友引	17 4・1 仏滅	18 4・2 大安	19 4・3 赤口
20 4・4 先勝	21 4・5 友引 小満 宗祖降誕会	22 4・6 先負	23 4・7 仏滅	24 4・8 大安	25 4・9 赤口	26 4・10 先勝
27 4・11 友引	28 4・12 先負	29 4・13 仏滅	30 4・14 大安 仏教講座	31 4・15 赤口	1	2

五月晴  
這いずり探す針一つ  
谷口幸子

阿弥陀さまの国へ

お釈迦さまはイダイケ夫人にいました。「まず憶いを凝らして阿弥陀さまのお国を心に描きなさい。そうすれば心が浄められ、おのずから浄らかな行いをするようになります。今から詳しく話しましょう。あなただけでなく、後に阿弥陀さまの国に生まれたいと願う人々のために道を開きましょう。」

阿弥陀さまのお国に生まれたい人は、三つの善い行いが必要です。

第一に世間の善い行い。第二は、仏法僧の三宝を篤く敬い、戒律を守ることです。第三は悟りを求める心を発し、仏道に励んで、人々にも勧めることです。この三つが阿弥陀さまのお国へ往くことと成る人の歩むべき道です。

今から阿弥陀さまの極楽世界を觀せよう。仏さまの力によって、鏡で見るようにはっきりと見ることが出来ます。その世界を見れば無上の悦びを感じるでしょう。「これを見てイダイケは尋ねます。

「私は幸いにもお釈迦さまによって聞かせていただけますが、お釈迦さまが涅槃に入られた後の人々は、私よりもっと苦しまねばならないでしょう。その人々はいったいどうすれば阿弥陀さまの国を見ることが出来るのでしょうか？」

お釈迦さまはイダイケに言いました。「ただひとすじに心を凝らして西の方角を想い、眼を閉じて開いても同じように夕日が見えるようにするのです。これを『日想』と言います。第一の觀想とこのことです。」

と続けて、さまざまな修行法をお説きくださいました。

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**

Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
醍醐山願院 **徳勝寺**

Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館  
**だいご** (醍醐)

Tel & Fax 0879(43)5772

# 平成19(2007)年

## 6月

水無月 June

5月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1 <small>4・16 先勝 気象記念日</small>	2 <small>4・17 友引</small>
3 <small>4・18 先負</small>	4 <small>4・19 仏滅 歯の衛生週間</small>	5 <small>4・20 大安 環境の日 仏教婦人会</small>	6 <small>4・21 赤口 芒種</small>	7 <small>4・22 先勝</small>	8 <small>4・23 友引</small>	9 <small>4・24 先負 仏教壮年会</small>
10 <small>4・25 仏滅 時の記念日 ふるさと探訪</small>	11 <small>4・26 大安 入梅</small>	12 <small>4・27 赤口</small>	13 <small>4・28 先勝</small>	14 <small>4・29 友引 勝如上人祥月命日</small>	15 <small>5・1 大安</small>	16 <small>5・2 赤口</small>
17 <small>5・3 先勝 父の日</small>	18 <small>5・4 友引</small>	19 <small>5・5 先負 桜桃忌</small>	20 <small>5・6 仏滅</small>	21 <small>5・7 大安</small>	22 <small>5・8 赤口 夏至</small>	23 <small>5・9 先勝 沖縄慰霊の日</small>
24 <small>5・10 友引</small>	25 <small>5・11 先負</small>	26 <small>5・12 仏滅</small>	27 <small>5・13 大安 仏教講座</small>	28 <small>5・14 赤口</small>	29 <small>5・15 先勝</small>	30 <small>5・16 友引</small>

萬緑や延喜の社  
松皮茸き、  
松原勇

ひわだぶ

阿弥陀さまが現れる

お釈迦さまは様々な観法をお示しく下さいましたが、つづいて、アーナンダとイダイケにいいました。

「よくよく諦かに聴きなさい。今から苦惱を除く方法を詳しく説きます。これを正しく理解して悩みを同じくする多くの人々に伝えなさい」

お釈迦さまがそう言いおわった時、突如として阿弥陀さまが観音菩薩と勢至菩薩と共に空中に姿を現しました。その明るさはたとえようもなく、この世の黄金をどれだけ集めても及ばないほどで、まともにお顔を拝むことさえできませんでした。

イダイケはあまりの神々しさに三尊の御足を両手に頂き、額にあてて拝みました。そしてお釈迦さまに尋ねました。

「お釈迦さまのお力で私は今、阿弥陀さまと二菩薩を拜むことができました。でもこれから先の人々はどうしたらこの三尊を拜むことができるのでしょうか」

お釈迦さまはイダイケに答えました。

「それにはまず七宝の大地に咲く蓮を想いなさい。その一枚の花びらには八万四千の脈があり、神々の世界のようである。その脈に八万四千の光があり一帯をくまなく見ることが出来る。…と、すべてが仏さまのお働きでできており、仏さまのお姿としてできあがっていると蓮の花を見ていくのです。これが『華座観』で七番目の観想です。」

と、このようにさまざまな修行法を教えてくださいましたので、それらの方法では、残念ながらイダイケは救われなかったのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**

Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
醍醐山厭傾院 **徳勝寺**

Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館

だいご (醍醐)

Tel & Fax 0879(43)5772

# 平成19(2007)年

6月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

8月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

## 7月

文月 July

日	月	火	水	木	金	土
1 5・17 先負 山開き	2 5・18 仏滅 半夏生	3 5・19 大安 仏教婦人会	4 5・20 赤口	5 5・21 先勝 栄西忌	6 5・22 友引	7 5・23 先負 七夕・小暑
8 5・24 仏滅 心るさと探訪	9 5・25 大安 鷗外忌	10 5・26 赤口	11 5・27 先勝	12 5・28 友引	13 5・29 先負 盆迎え火	14 6・1 赤口 仏教壮年会
15 6・2 先勝 孟蘭盆会 夏参り・盆会	16 6・3 友引 海の日・盆送り火	17 6・4 先負 祇園祭	18 6・5 仏滅	19 6・6 大安	20 6・7 赤口 土用入り	21 6・8 先勝
22 6・9 友引	23 6・10 先負 大暑	24 6・11 仏滅 地藏盆・河童忌	25 6・12 大安 仏教講座	26 6・13 赤口	27 6・14 先勝	28 6・15 友引
29 6・16 先負	30 6・17 仏滅 土用の丑	31 6・18 大安	1	2	3	4

木もれ日や瀬音澄みたる峡の道  
下岡喜代美

修行ができない人たちへ  
お釈迦さまはアーナンダとイダイケにいいました。  
「もし心から西方浄土に生まれたいと欣うならば、まず5メートルの仏の像が極楽の七宝の池の上に居られる姿を感じなさい。如来の力によってかならず感じられますよ。ただ仏の姿を想うだけでも幸せを感じられます。  
阿弥陀さまは自由自在の神通力を負っているから変現もまことに意のままなのです。あるときは宇宙の大きさに、あるときはわずかか24センチの姿で現れるのです。」  
お釈迦さまは、それでもイダイケができてうにないので、続けてお説きになります。  
「今までの修行法は精神を集中できる人々のためのものです。今からはそれのできない人々がお浄土へ往ける道を説きましよう。  
まず精神集中することはできなくても、浄土に生まれたいと願って誠の心、深い信仰の心、善行の報いのすべてを往生のためにふり向ける心、とを発せば、かならず往生できるのです。  
また不殺生等の戒を守り、大乘経典を誦誦し、一日に六回、仏を念ずる人は、七日のうちには往生できるでしょう。」  
と、お説き始めになりました。  
ところが、イダイケ夫人のよつに、大きな罪を犯したもので、仏道に心を向けられない人にとっては、それらの修行法であっても決して満足にできる修行法ではなかったのです。素晴らしい往生の方法をお聴かせいただきながら、イダイケ夫人の心は、ますます哀しみに包まれていくのでした。

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**

Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
醍醐山厭傾院 **徳勝寺**

Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館  
**だいご** (醍醐)

Tel & Fax 0879(43)5772



# 平成19(2007)年

7月

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

## 8月

葉月 August

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

山門の薨も反りて大日照  
いらか  
木村正一

イダイケの救い

お浄土へ往生する修行がどうしてもできずうにないので、ついにもっとも簡単な方法をお釈迦さまがお説きくださいました。

「なまよまな罪を犯し、それによって地獄に墮ちて、限りなく苦しまねばならないような人の命が終わる時には、善知識がこの人のためにさまざまに慰め、仏の教えを説き、心に仏を念じさせようと働いてくださる。

しかし、このような人は自らの悪業が招いた地獄の責苦にさいなまれて、心安らかに仏を念ずることができないのです。そこで善知識は『仏を念ずることができないのなら、せめて阿弥陀仏の名を称えなさい』と教えてください。

そこで、苦しみの中を、必死で称名を続けると、その一声一声の称名によって罪が除かれ、いよいよ最期の時、金色の蓮華がその人の前に現われる。直後、極楽に往生して蓮華の中に生じて、ついに蓮華が開くのです。

その時に、観音菩薩・勢至菩薩がこの人のために法を説いてくださる。この人はこれを知りて心おおいに喜び、ようやく菩提心を発すのである。」

イダイケ夫人はこのお釈迦さまの懇切なお話を聴いて、極楽の国と、阿弥陀さまと観音菩薩・勢至菩薩にお会いすることができたのです。そして心の底から喜び、悟りに至り、確かな信を得ることができました。

いつの間にか周りを取り囲んでいた五百人の侍女たちと数知れぬ神々も、みんな一緒にこのお釈迦さまのお話を聴かせていただき、同じ菩提心を発すことができたのでした。

# 平成19(2007)年

## 9月

長月 September

8月						
日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

10月						
日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1 <small>7・20 友引 防災の日・二百十日</small>
2 <small>7・21 先負</small>	3 <small>7・22 仏滅</small>	4 <small>7・23 大安 仏教婦人会</small>	5 <small>7・24 赤口</small>	6 <small>7・25 先勝</small>	7 <small>7・26 友引</small>	8 <small>7・27 先負 白鷺 仏教壮年会</small>
9 <small>7・28 仏滅 ふるさと探訪</small>	10 <small>7・29 大安</small>	11 <small>8・1 友引 二百二十日</small>	12 <small>8・2 先負</small>	13 <small>8・3 仏滅</small>	14 <small>8・4 大安</small>	15 <small>8・5 赤口 老人の日</small>
16 <small>8・6 先勝</small>	17 <small>8・7 友引 敬老の日</small>	18 <small>8・8 先負</small>	19 <small>8・9 仏滅 子規忌</small>	20 <small>8・10 大安 彼岸入り</small>	21 <small>8・11 赤口</small>	22 <small>8・12 先勝 秋季永代経</small>
23 <small>8・13 友引 秋分の日・川柳忌 秋季永代経</small>	24 <small>8・14 先負 振替休日</small>	25 <small>8・15 仏滅 仲秋の名月</small>	26 <small>8・16 大安 彼岸明け 仏教講座</small>	27 <small>8・17 赤口</small>	28 <small>8・18 先勝</small>	29 <small>8・19 友引 道元忌</small>
30 <small>8・20 先負</small>						

稲穂波 この地に生きて八十路かな

榎村博

ビンビサーラー王の自殺

アジャセの王子ウダヤが、火がついたように泣き出しました。紅葉のような小さな手の指が一ヶ所ひどく腫れていました。妃も乳母もおるおるしているところへアジャセがかけつけました。ウダヤの指を見るなり、ウミを一気に吸い出しました。

「おお、アジャセ、あなたも…」  
まもなくかけつけたイダイケが、その姿を見てアジャセの十歳のころのことを思い起こして言いました。

「あなたがちよつとこのウダヤべらいのときやはり指がひどく腫れてそれはそれは大変でした。でも父王さまが今のあなたと同じようにしっかりとウミを吸い出してくれたのですよ。」

アジャセもそのことを思い起こしておりました。

「だれか、ただちに牢獄へかけつけ、父王をお出してもうせ、急げ!!」

一方、獄内のビンビサーラー王は、みずからを牢から解放するための、あわただしい足音が近づくのを感じて、刺客が差し向けられたと勘違いしてしまいました。

「わが子に父殺しの罪を犯させてはならないアジャセよ。これが父の最後の贈り物じゃ。」  
牢番が急いでその重い扉を開けて、ビンビサーラー王をお出ししようとしたその時、みずから命を絶ったのでした。

しかし、すでにお釈迦さまの光によって、この欲の世界を超えてしまっていたので、心静かに往ったのであります。

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**

Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
醍醐山厭傾院 **徳勝寺**

Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館  
**だいご** (醍醐)

Tel & Fax 0879(43)5772

# 平成19(2007)年

9月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

11月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

# 10月

神無月 October

日	月	火	水	木	金	土
30	1 8・21 仏滅 衣替え	2 8・22 大安 仏教婦人会	3 8・23 赤口	4 8・24 先勝	5 8・25 友引 達磨忌	6 8・26 先負
7 8・27 仏滅	8 8・28 大安 体育の日	9 8・29 赤口 寒露	10 8・30 先勝	11 9・1 先負	12 9・2 仏滅 龜山天皇忌・芭蕉忌	13 9・3 大安 嵐雪忌 仏教壮年会
14 9・4 赤口 鉄道の日 ふるさと探訪	15 9・5 先勝 大谷本廟龍谷会	16 9・6 友引	17 9・7 先負	18 9・8 仏滅	19 9・9 大安	20 9・10 赤口 皇后誕生日
21 9・11 先勝 土用	22 9・12 友引	23 9・13 先負 十三夜	24 9・14 仏滅 霜降	25 9・15 大安	26 9・16 赤口	27 9・17 先勝 読書の日
28 9・18 友引	29 9・19 先負	30 9・20 仏滅	31 9・21 大安 仏教講座	1	2	3

一念に果せし高野秋日和  
寒川博吉

アジャセの後悔

父王を亡くした夜、アジャセは原因不明の高熱にたおれ、全身に腫れ物ができ、浸み出るウミが耐えがたい悪臭を放ちました。見舞おうとした妃でさえ、その激臭に気を失いました。

医師にも原因は分からず、手の施しようもありませんでした。母のイダケ夫人はピンピサーラ王の死の悲しみをこらえつつ看病しました。

「母上、これは私の心が生み出した病です。私の心が癒えないかぎり……どんな名医も治すことはできません」

高熱と激痛にあえぎながら、アジャセは言いました。わずかに無事なアジャセの掌をとって、イダケは涙をばらはらと流しました。

翌日、重臣たちが集まりました。

「お気の毒だがとても耐えられる臭いではない。おそばについていれば我々が毒気にやられてしまいそうだ。一人ずつ、順番に我慢のできる時間だけお見舞いいたそう。」

ダイバダッタにそのかされたとはいえず、無実の父王を牢につなぎ死に至らしめたアジャセは、無間地獄に墮ちることを思い、恐れおののいていました。

そこで、地獄などないとか、父を殺すのは国を治める手段であって罪ではないとか、それぞれの尊敬する師の教えをもって、六人の大臣たちは慰さめました。それらは当時のインドで盛んだった教えでした。

しかし、どのように慰められても、アジャセの心の重荷は軽くならなかったのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会

石田保育園

Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派

醍醐山厭傾院 徳勝寺

Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館

だいき (醍醐)

Tel & Fax 0879(43)5772

10月

# 平成19(2007)年

12月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

# 11月

霜月 November

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1 <small>9・22 赤口</small>	2 <small>9・23 先勝</small>	3 <small>9・24 友引 文化の日</small>
4 <small>9・25 先負</small>	5 <small>9・26 仏滅</small>	6 <small>9・27 大安 仏教婦人会</small>	7 <small>9・28 赤口</small>	8 <small>9・29 先勝 立冬</small>	9 <small>9・30 友引</small>	10 <small>10・1 仏滅 仏教壮年会</small>
11 <small>10・2 大安 世界平和記念日 ふるさと探訪</small>	12 <small>10・3 赤口</small>	13 <small>10・4 先勝</small>	14 <small>10・5 友引</small>	15 <small>10・6 先負 七五三</small>	16 <small>10・7 仏滅</small>	17 <small>10・8 大安 談山忌</small>
18 <small>10・9 赤口</small>	19 <small>10・10 先勝 一茶忌</small>	20 <small>10・11 友引</small>	21 <small>10・12 先負 近松忌 仏教講座</small>	22 <small>10・13 仏滅 本山秋の法要</small>	23 <small>10・14 大安 勤労感謝の日・小雪</small>	24 <small>10・15 赤口</small>
25 <small>10・16 先勝</small>	26 <small>10・17 友引</small>	27 <small>10・18 先負</small>	28 <small>10・19 仏滅 旧親鸞聖人忌</small>	29 <small>10・20 大安</small>	30 <small>10・21 赤口</small>	1

山里の廃屋彩る柿たわ、

松下正弘

アジャセの回心

医師のジーバがアジャセを見舞いました。  
「王さま、夜はお休みになれますか」  
「体の痛みに加えて積み重ねた悪事の罪の重さに日夜心が疼く。生きながら地獄にいる心地だ。だが実際の地獄の苦しみはこんなものではない。ジーバよ、私を治せる医者などいないことをお前は知っているだろう。今は安らかな眠りこそ無上の幸福だ」  
王の悲痛な言葉がジーバを動かしました。  
「王さま、この苦痛を癒せるお方がいらっしやいます。どうか一刻も早くクシナガラのお釈迦さまのもとをお訪ねください」  
ジーバの熱心な勧めにもかかわらずアジャセの心は重く、さらに、自らの罪の深さに気づくにつれてお釈迦さまは「層遠く近寄りがたく思えました」。

そこでジーバは、多くの人々がどのようにお釈迦さまに出会っていったかを、つぶさに心をこめて語りました。アジャセの心ははや動きましたが、まだ躊躇していました。

その頃、お釈迦さまもお身体を痛められ、最期を迎えようとしておられました。

その時どこからか大きな声が響きました。「アジャセよ、今すぐ行け。汝の重病を癒せるただ一人の人がまもなく世を去ろうとしている。今をのがせば永劫に地獄往きだぞ」姿の見えない不気味さにアジャセは怯えました。

「息子よ、父の声を忘れたか、早く行くのだ。」非業の死を遂げてもなお、わが子を救おうとする父ヒンビサーラの声に、アジャセは氣を失うほど驚いたのです。

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**

Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
醍醐山厭傾院 **徳勝寺**

Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館

**だいご** (醍醐)

Tel & Fax 0879(43)5772

11月

# 平成19(2007)年

平成20年1月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

# 12月

## 師走 December

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

<b>日</b> 25	<b>月</b> 26	<b>火</b> 27	<b>水</b> 28	<b>木</b> 29	<b>金</b> 30	<b>土</b> 1 <small>10・22 先勝 御正忌報恩講</small>
<b>2</b> <small>10・23 友引 御正忌報恩講</small>	<b>3</b> <small>10・24 先負</small>	<b>4</b> <small>10・25 仏滅 人権週間</small>	<b>5</b> <small>10・26 大安</small>	<b>6</b> <small>10・27 赤口</small>	<b>7</b> <small>10・28 先勝 大雪</small>	<b>8</b> <small>10・29 友引 成道会</small>
<b>9</b> <small>10・30 先負 漱石忌 ふるさと探訪</small>	<b>10</b> <small>11・1 大安</small>	<b>11</b> <small>11・2 赤口</small>	<b>12</b> <small>11・3 先勝</small>	<b>13</b> <small>11・4 友引</small>	<b>14</b> <small>11・5 先負</small>	<b>15</b> <small>11・6 仏滅 年賀郵便受付開始</small>
<b>16</b> <small>11・7 大安</small>	<b>17</b> <small>11・8 赤口</small>	<b>18</b> <small>11・9 先勝</small>	<b>19</b> <small>11・10 友引 仏教講座</small>	<b>20</b> <small>11・11 先負 本山お煤払い</small>	<b>21</b> <small>11・12 仏滅</small>	<b>22</b> <small>11・13 大安</small>
<b>23</b> <small>11・14 赤口 天皇誕生日</small>	<b>24</b> <small>11・15 先勝 振替休日</small>	<b>25</b> <small>11・16 友引 蕪村忌</small>	<b>26</b> <small>11・17 先負</small>	<b>27</b> <small>11・18 仏滅</small>	<b>28</b> <small>11・19 大安 御用納め</small>	<b>29</b> <small>11・20 赤口</small>
<b>30</b> <small>11・21 先勝</small>	<b>31</b> <small>11・22 友引 大晦日 除夜会</small>					

見えていて遠き燈台冬廃  
田中克己

アジャセの救い

「私はアジャセのために涅槃には入らない」  
アジャセの苦悶を知って、お釈迦さまはそ  
うつぶやきました。かたわらのマハーカッサ  
パは不審に思つて尋ねました。  
「なぜアジャセのためと申されるのですか」  
「アジャセのように、五逆罪を犯した者のた  
めという意味だよ」  
お釈迦さまは答えるとき、月愛三昧に入り  
ました。すると間もなく清涼な光明がアジャ  
セを照らし、見る間にすべての腫れ物が消え  
ました。アジャセはまだ夢の中にいる心地で  
ジーバに尋ねました。  
「この光はどいつしたのか。」  
「これこそお釈迦さまが放たれた光です。お  
釈迦さまは、まず王さまの体の苦痛を除かれ  
たのです。」  
アジャセは直ちに出發の用意をさせ、ジー  
バといつしよに象に乗りました。クシナガラ  
に着くと待ち受けていたお釈迦さまは、「王  
よ」と声をかけました。暖かく迎えられるた  
けで不安と疑いも晴れ、アジャセは素直な心  
でお釈迦さまのお話を聴けるようになりまし  
た。  
「尊者よ、何と不思議なことでしょうか、伊  
蘭の芽から梅檀の木が生じまし  
た。無根の信を賜りました。も  
う私は地獄を恐れませんが。」  
沙羅の林に居あわせた、多く  
の人々は、みんな一緒に悟りを  
求める心を発しました。お釈  
迦さまは、しずかに微笑んでお  
られました。  
(大般涅槃經)

社会福祉法人 醍醐福祉会  
**石田保育園**  
Tel 0879(43)1451 Fax 0879(23)2053

浄土真宗本願寺派  
醍醐山厭傾院 **徳勝寺**  
Tel 0879(43)2023 Fax 0879(23)2008

徳勝寺門信徒会館  
**だいが** (醍醐)  
Tel & Fax 0879(43)5772